HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
https://www.fukuhana.jp/

2023
1・13
No.58

新年のごあいさつ

代表理事組合長　笠　文樹

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

組合員の皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、２０２２年を振り返りますと、２月の北京冬季オリンピックで、日本は過去最多のメダルを獲得、最近ではＦＩＦＡワールドカップでのグループリーグ突破の熱戦等、明るいニュースがありました。

新型コロナウイルス感染症についても、今までと比べて大幅な行動制限緩和、そして国内産特効薬の緊急承認もあり、徐々に明るい兆しが見えてきました。

しかし、２月に発生したロシアのウクライナ侵攻は、当初の予想に比べ大幅に長期化し、エネルギー資源や穀物類の国際取引価格の高騰を招き、世界景気の回復に急ブレーキをかけました。これに、アメリカの大幅な金利引き上げによる円安物価高が重なり、国民の生活に打撃を与え続けた一年となりました。

政府からは、物価高への対策として、燃料価格に対する補助金支給や電気料金の負担軽減策の考案が行われました。また、９月には新型コロナウイルス感染者の全数把握見直し、段階的な入国制限の緩和、渡航規制の引き下げも行われ、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた動きが推し進められました。

このような情勢下、花の消費に関しては、感染対策を行った上でのイベントの増加、またコロナ禍による延期分も含め、人を集めての婚礼が増加したことにより、コロナ禍以前のような消費状態が取り戻されつつあります。

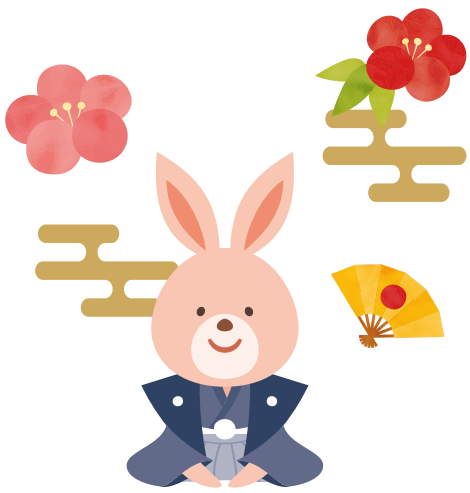
しかし、円安傾向が長く続いた影響から、輸入商材の入荷量増加は見込めない状況です。入荷数量の減少に伴う販売単価上昇により市場販売高は維持されていますが、数量確保に向けた対策の考案と実施が急務となっています。

この現状から脱却するためにも、全国屈指の花き生産量を誇る福岡県の県産品はもちろん、国産花きの掘り起こしに注力し、コロナ禍による国内生産量の減少に歯止めをかけるとともに、入荷量確保に努めてまいります。

また花卉農協としては、販売強化に向けて運用してきた「Ｗｅｂ販売システム」と「在宅セリシステム」に加えて、「産地提案システム」の機能最適化に力を注いでいます。コロナ禍を経て、花き需給の移り変わりは目まぐるしさを増していますが、将来を見据え、販路の拡大を推し進めるとともに、花卉農協として組合員皆様の営農活動支援のため、本年も全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

令和５年　元旦



▼活動報告　若者育成事業

10月28日(金)、福岡花市場にて「若者育成事業全体研修会」を実施しました。対面形式では約３年ぶりの開催でした。

講師としてお招きしたのは、アグリビジネスパートナーの高津佐和宏氏です。高津佐氏は、「儲かる農家のオンラインスクール」等の農業経営者向けのセミナーを主催され、社会の変化をチャンスに変えることのできる農業経営者の育成に力を注がれています。今回の研修会では、『「儲かる農業経営の秘訣」～花農家が令和時代を生き抜くために必要なこと』というタイトルで、経費が変わらず売上アップした、取引先との交渉だけでコストが10％削減した等、事例に基づいた実践できるノウハウをご紹介いただきました。

▲アグリビジネスパートナーの高津佐氏

いい夫婦の日キャンペーン

キックオフ

福岡花市場、北九州花市場では10月24日（月）のセリ前に、福岡花商協同組合、北九州生花商協同組合の協力のもと買参人のみなさまへ向けた「いい夫婦の日」のキャンペーン参加への呼びかけを実施しました。また、買出人のみなさまへは場内の仲卸店舗にご協力いただいて「いい夫婦の日」のポスターやのぼりを店舗に掲示することでキャンペーンのご案内を行いました。さらに、県花卉農協職員も「いい夫婦の日」の黄色のウインドブレーカーやベスト、缶バッチ等を着用し、キャンペーンの周知に努めました。

▲北九州花市場でキックオフ

福岡市一人一花運動とのコラボ企画

今年も福岡市が展開している「一人一花」運動と連動したイベントを実施。福岡市の7区役所と2出張所で11月22日に婚姻届を提出される方へ、「ふたりにとって、11月22日が花で感謝を伝える記念日になるように」との想いを込めてバラの一輪花をプレゼントしました。今回配布した700本のバラは、県花卉農協ばら部会よりご提供いただきました。

また、今年は西区役所に新たな門出を迎えたおふたりがその記念として写真を撮れるようにフラワーオブジェを設置し、その模様がNHK、RKB、TNC、FBS、KBCの報道番組にて紹介されました。

▲新たな門出を記念し笑顔で写真撮影

トリアスハロウィンカーニバルとのコラボ企画

今年は初めて糟屋郡久山町にある複合商業施設「トリアス久山」とのコラボ企画を実施。10月29日（土）～31日（月）にトリアス久山で開催された「トリアスハロウィンカーニバル2022」での福岡県産の花を使用したフラワーオブジェの設置や福岡県産の花きを使用した「親子フラワーアレンジメント教室」（29日（土）のみ実施）の開催を通して参加者のみなさまに「いい夫婦の日花贈り日」をPRしました。

フラワーフォトスポット展示

10月28日（金）～30日（日）に「ウエストコート姪浜」（福岡市西区）、11月19日（土）～22日（火）に「天神ロフト」（福岡市中央区）にて、福岡県産の花を使用したフラワーフォトスポットの展示を行い、それぞれの施設のお客様に「いい夫婦の日花贈り日」をPRしました。

また、ウエストコート姪浜や天神ロフトには、公式Twitterや館内広告などの自社媒体を通して「いい夫婦の日」をご紹介いただきました。

▲天神ロフトにて

メディアプロモーション

11月15日（火）放送のRKBラジオ「#さえのわっふる」内でリスナーのみなさまに「いい夫婦の日花贈り日」についてご紹介しました。また、11月14日（月）～17日（木）に番組を聴かれたリスナーの方から毎日抽選で2名の方に福岡県産の花きを使用したブーケタイプの花束をプレゼントしました。

同じく15日（火）放送のLOVE FM「Top Of The Morning」にて「いい夫婦の日花贈り日」を紹介するために福岡県産の花きを使用した花束をリスナー5名にプレゼントしました。

福岡県花き品評会「産物の部」開催

11月25日（金）に福岡花市場場内にて、令和4年度福岡県花き品評会「産物の部」が開催されました。花き生産技術の改善と品質向上を図ることを目的として毎年開かれるこの品評会ですが、今年度は福岡県内の生産者の方から141点ご出品いただきました。

農林水産大臣賞をはじめとした各賞を受賞した花きは、一般の方々にも紹介するため、福岡市中央区天神のアクロス福岡1階アトリウムで11月26日（土）から27日（日）まで展示されました。

表彰式は令和5年5月に実施される予定です。

▲アクロスでの展示の様子

活動報告 花育体験校モデル事業

10月13日（木）の福岡市立片江小学校（城南区）で実施したフラワーアレンジメント教室より、2022年度の福岡市農畜産物消費拡大推進協議会「花育体験教室」が始まりました。

講師として福岡花商協同組合にご協力いただくとともに、今年度は「福岡市緑のコーディネーター」のみなさまにスタッフとしてご参加いただいています。「福岡市緑のコーディネーター」とは、福岡市が開講する養成講座を受講し認定された花や緑に関する知識・技術を持つ方々で、花壇づくりやフラワーアレンジメントなど、緑に関するさまざまな相談や指導を行い、公民館や市民センターにおける体験講座の講師として活躍されています。

今年度は10月～2月までの間に、福岡市内の8つの小中学校の児童・生徒のみなさんに主に福岡市内で生産された花々を使ったフラワーアレンジメントづくりを体験していただく予定です。

▲吉塚小学校にて

切花種苗・資材展示説明会を開催

11月4日（金）に福岡花市場場内にて「切花種苗・資材展示説明会」を実施しました。

説明会には、種苗や資材を扱う10社（うち展示のみ3社）にご出展いただき、まず来場された組合員のみなさまにそれぞれ15分ほど自社商品を説明していただきました。各社の商品説明後、組合員のみなさまは自由に商品を観覧し、業者の方に直接商品についての質問などをされていました。

［はなこ］1月号　2023年1月13日　発行
通巻　146号

● 発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:
info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
https://www.fukuhana.jp

HANACO はなこ